

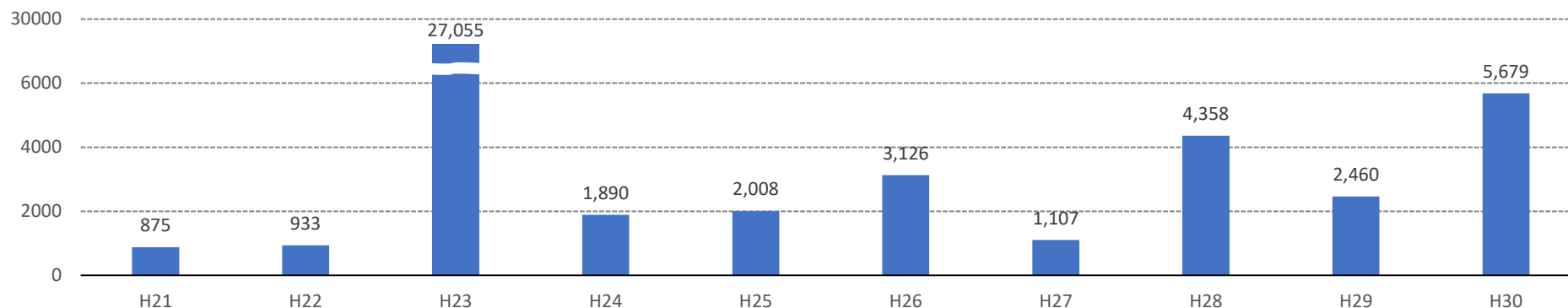
(参考8) 台風・豪雨等の自然災害への対応

○ 近年、局地的な豪雨や地震、台風による大規模な災害が頻発しており、果樹をはじめとする農産物関係被害額は増加傾向にある。

○過去10年の主な異常災害等と農林水産被害

(億円)

(2019年1月28日時点)



○平成30年7月豪雨被害

- ・平成30年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、農業被害が発生。
- ・特に愛媛県のかんきつ産地では、園地の崩落や農道の寸断、かん水施設や農業用モノレールの損傷などの被害が発生。

- ・被災地では、農道やかん水施設、モノレール等の農業用施設の復旧に取り組んだ。
- ・平成30年9月中旬には平成30年産うんしゅうみかんの出荷を開始し、平成30年産うんしゅうみかんの出荷量(宇和島市内の4選果場)は、平年の約9割を確保。



かんきつ園地崩落現場(愛媛県)



モノレール破損(愛媛県)



仮復旧後(平成30年8月25日時点)



復旧したモノレール